



# えんちょうつうしん⑦



2020年7月22日発行 札幌大谷大学附属幼稚園 園長 安井美恵子

6月1日から園生活が再開し、あっという間に1学期が終了致しました。新型コロナウイルスの感染拡大により、クラス懇談や保育参観は中止になり、個人懇談は電話で行い、7月に入ってようやく学年懇談を実施することが出来ました。

様々な規制がある中で、保護者の皆様にはいろいろとご不便をお掛け致しましたが、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

自粛生活は徐々に緩和されて、公共交通機関の利用者は増え、市中に出回る人数も戻ってきています。こんなに人が出て大丈夫？と思いながら、自分もその中を歩いている一人です。

新しい生活様式に則って、感染リスクを減らす日常を過ごして行かなければなりませんね。

さて、明日から26日間の夏休みに入ります。過ごし方につきましては、別紙をご覧ください。怪我や事故のないようお気を付けください。

今年は、いつもの夏のようにあちらこちらに出掛けるのは難しいと思います。ご家庭や身近な場所でお子様たちと短い夏を楽しんで頂きたいと存じます。

因みに、私にとって夏休みと言えば一番に思い出すのが、『ラジオ体操』です。娘たちが幼い頃、町内子ども会の手伝いで、ラジオ体操の引率係をしていました。夏休み中はほぼ毎日、自宅からラジオを持参して近所の公園へ行き、近隣の子どもたちと一緒に体操をし、それぞれの『ラジオ体操カード』に押印して終了。数年続けてこの係を引き受けていたように思います。

『ラジオ体操』を実施している地域は、以前に比べて少なくなっていると思いますが、それぞれお住まいの町内会で実施している場合は、是非親子で参加してみたいでしょうか。夏の一日を爽やかにスタートさせることが出来ると思います。

---

末筆になりましたが、この度の豪雨災害におきまして、犠牲になられた方々のご冥福をご祈念申し上げます。

また、大きな被害に遭われご不自由な生活を強いられておられる皆様方に心よりお見舞い申し上げます。